

関係者各位

公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会
会長 中町 祐司

「近畿チーム医療実践セミナー2017 兵庫」 開催のお知らせ

平素は当会事業にご理解ご協力を賜りお礼申し上げます。
この度、兵庫県臨床検査技師会が担当し、下記要領にて
「近畿チーム医療実践セミナー2017 兵庫」を開催する運びとなりました。
当セミナーは、オープンセミナーとして近畿一円でチーム医療に携わる全職種の方々を対象に、チーム医療を実践するにあたり、明日からの日常業務にすぐに役立つ内容を盛り込んでおります。ぜひ、多くの方々のご参加をお願い申し上げます。

記

- 日 時 : 平成30年1月28日(日) 9:30 ~ 16:30
会 場 : 兵庫医科大学 9号館5階(9-1 講義室 他)
〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号
- テ ー マ : 「実践! 知ればわかる。行動できるチーム医療!!」
対 象 : チーム医療に携わる医療従事者
内 容 : (午前の部)・コミュニケーションスキル・自己啓発向上研修
(午後の部)・各部門専門実践セミナー
(ICT 部門、糖尿病療養指導部門、NST 部門)
- * 「プログラム」: 別紙
* 日臨技生涯教育履修点数: 専門教科 20 点
- 参加費 : 2,000 円 (一律、テキスト代込み)
定 員 : 120 名
申込方法 : 事前申込み制 (別紙「申込み方法」参照)
申込期間 : 平成29年10月2日(月) ~ 平成30年1月12日(金)
各部門の申込み数が定員を超えた場合は、その時点で受付を終了いたします。
- 主 催 : 公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会
問合せ先 : 兵庫県臨床検査技師会
チーム医療部門 班長 中筋幸司 nakasuji.takarazuka@gmail.com

以上

「近畿チーム医療実践セミナー2017 兵庫」

申込み方法

*事前申込み制で、メールによる申込みのみとなります。

*定員は120名（ICT部門40名、糖尿病療養指導部門40名、NST部門40名）です。
応募者多数の場合は受付順とさせていただきます。

1. 申込み方法

1) 申込み用メールアドレス：iceman.k.master@gmail.com まで

下記の**必要事項を入力**し送信して下さい。なお、1通のメールで1名のお申込みを行って下さい。

2) 申込期間：平成29年10月2日(月)～平成30年1月12日(金)

各部門の申込み数が定員を超えた場合は、その時点で受付を終了いたします。

3) メール受付後、参加の可否が決定した時点で、送信先メールアドレス宛に返信させていただきます。なお、4日以内（休日を除く）に返信が届かない場合は、お手数ですが問い合わせ先までご連絡ください。

4) 事前申し込み後にご都合が悪くなった場合は、必ず問い合わせ先までメールでご連絡下さい。

(問い合わせ先：兵庫県臨床検査技師会

チーム医療部門 班長 中筋幸司 nakasuji.takarazuka@gmail.com)

2. 申込み時の必要入力事項

1) 件名：「近畿チーム医療実践セミナー2017 兵庫 申込み」

2) 必須入力事項

① 氏名（ふりがな）

② 所属施設名・部署名

③ 職種

*日臨技会員の方は、日臨技会員番号を記載してください。

④ 参加希望部門名

*午後の部・各部門専門実践セミナーへの参加希望部門を、下記より1部門選んでください。

A (ICT 部門)、 B (糖尿病療養指導部門)、 C (NST 部門)

3) 任意入力事項

① チーム医療経験者はおよその携わっていた期間

*各部門専門実践セミナーでの班分けに利用させていただきます。

② 緊急時連絡先（携帯メールアドレス、携帯電話番号など）

*ご記入いただいた方には緊急時の連絡をさせていただきます。

「近畿チーム医療実践セミナー2017 兵庫」プログラム

日 時：平成30年1月28日（日）9：00～16：30

会 場：兵庫医科大学 9号館5階（9-1講義室 他）

メインテーマ：「実践！知ればわかる。行動できるチーム医療！！」

9:00～	受付		
9:30～12:00	<p>《合同研修》（コミュニケーションスキル・自己啓発向上研修） 自立そして相互依存状態へ発展させるコミュニケーション ～ベストセラー『7つの習慣』から学ぶ～ フランクリン・コヴィー・ジャパン（株）特別プログラム 認定講師 （株）生涯学習開発 財団認定コーチ 鈴木 孝 先生</p>		
12:00～13:00	昼休み		
13:00～16:30	《各部門専門実践セミナー》		
各部門テーマ	ICT部門	糖尿病療養指導部門	NST部門
	臨床検査から考える 抗菌薬適正使用支援プログラム (Antimicrobial Stewardship Program : ASP)	来ていますか？ SMBGの有効活用！	教えて！ 多職種で参加するNSTを もっと知ろう！！
内 容	<p>従来から、医療施設における感染対策には感染制御チーム（ICT）が活動していますが、加えて、患者への抗菌薬使用を適切に管理する対策として、抗菌薬適正使用支援チーム（AST）や抗菌薬適正使用支援プログラム（ASP）が注目されています。臨床検査技師が実践するICT活動では薬剤耐性菌の検出やモニター、施設内伝播時の分類（表見型や遺伝子型）が、AST活動では検査する薬剤の種類やその報告方法が重要となります。今回は、臨床検査技師がどのようにすれば抗菌薬適正使用支援にかかわっていただけるのかを考え、実践できるセミナーを企画しました。</p> <p>第一部《講演》 抗菌薬の作用機序から抗菌薬適正使用を考える ～β-ラクタム系抗菌薬を中心に 講師：京都府立医科大学附属病院 薬剤部 小阪 直史 先生</p> <p>第二部《ワークショップ》 アドバイザー： 京都府立医科大学附属病院 臨床検査科 小森 敏明 先生 神戸市立西神戸医療センター 臨床検査技術部 山本 剛 先生</p> <p>薬剤感受性検査のセット薬剤や症例を基にした結果報告書をもとに、グループディスカッション形式で薬剤師と臨床検査技師がどのように関わるべきかを学ぶことができる研修内容です。</p> <p>※ASTに参加している薬剤師との意見交換できる場となる様、薬剤師や看護師の方も参加可能です。</p>	<p>血糖変動から見た1型糖尿病患者と2型糖尿病患者の指導ポイント！</p> <p>糖尿病療養指導でSMBGの活用方法について、『患者さんがうまく血糖管理を出来るようにするためには、どのように介入すればよいの？』『1型糖尿病患者と2型糖尿病患者では指導ポイントって違うの？』と悩まれている医療スタッフも多いと思います。SMBGを意味のある血糖測定にするために皆さんと一緒に考えてみたいと思います。FGMを使用した症例もあります。ご興味のある方は是非ともご参加ください。</p> <p>第一部《講演》 「活かせていますか？ SMBGの有用性」 講師：姫路循環器病センター 糖尿病センター 副センター長 橋本 尚子 先生</p> <p>第二部 《グループディスカッション》 講師：姫路循環器病センター 糖尿病センター 副センター長 橋本 尚子 先生</p> <p>*日本糖尿病療養指導士 認定更新のための研修会 <第2群>1単位を申請中です。</p> <p>※職種（薬剤師、看護師、管理栄養士など）問わず参加可能です。</p>	<p>NSTラウンドでは医師や薬剤師、管理栄養士から専門的な発言があり、『なんだかよくわからないな？』と感じたままになっている事はないでしょうか？今回は、各職種のスタッフがNSTで発言している基本的な内容をわかりやすくお話しいただき、少しでもNSTラウンド内の会話が理解できれば、よりNSTに興味をもてるのではないかと考え企画しました。また、経腸栄養剤の試飲をしていただき、栄養剤の特徴を知ってもらおう企画も用意しています。</p> <p>各講師陣から“教えます”シリーズ！ 《講演》 病態を理解しよう！ リフィーディング症候群って？ 講師：神戸大学医学部附属病院 栄養管理部 副部長 高橋 路子 先生</p> <p>消化器症状に関わるお薬は？ 講師：京都民医連中央病院 薬剤師 日比 麻有 先生</p> <p>どこで判断？食事のタイミング？ 講師：神戸大学医学部附属病院 摂食嚥下認定看護師 上岡 美和 先生</p> <p>その経腸栄養剤の選択理由は？ 講師：六甲アイランド甲南病院 管理栄養士 阿部 和徳 先生</p> <p>栄養に関するデータの見方は？ 講師：六甲アイランド甲南病院 臨床検査技師 元林 富博 先生</p> <p>*経腸栄養剤の試飲も行います！</p> <p>※職種（薬剤師、看護師、管理栄養士など）問わず参加可能です。</p>

【各部門専門実践プログラム】

【ICT 部門】（定員 40 名） 13:00 ~ 16:30

テーマ：臨床検査から考える抗菌薬適正使用支援プログラム (Antimicrobial Stewardship Program:ASP)

従来から、医療施設における感染対策には感染制御チーム (ICT) が活動していますが、加えて、患者への抗菌薬使用を適切に管理する対策として、抗菌薬適正使用支援チーム (AST) や抗菌薬適正使用支援プログラム (ASP) が注目されています。臨床検査技師が実践する ICT 活動では薬剤耐性菌の検出やモニター、施設内伝播時の分類 (表見型や遺伝子型) が、AST 活動では検査する薬剤の種類やその報告方法が重要となります。今回は、臨床検査技師がどのようにすれば抗菌薬適正使用支援にかかわっていただけるのかを考え、実践できるセミナーを企画しました。

内容：第一部《講義》

「抗菌薬の作用機序から抗菌薬適正使用を考える ~β-ラクタム系抗菌薬を中心に~」

講師：京都府立医科大学附属病院 薬剤部 小阪 直史 先生

第二部《ワークショップ》

京都府立医科大学附属病院 小森 敏明 先生、神戸市立西神戸医療センター 山本 剛 先生

薬剤感受性検査のセプト薬剤や症例を基にした結果報告書をもとに、グループディスカッション形式で薬剤師と臨床検査技師がどのように関わるべきかを学ぶことができる研修内容です。

※ASTに参加している薬剤師との意見交換できる場となる様、薬剤師や看護師の方も参加可能です。

【糖尿病療養指導部門】（定員 40 名） 13:00 ~ 16:30

テーマ：出来ていますか？ SMBGの有効活用！

内容：第一部《講義》

「活かせていますか？ SMBGの有用性」

講師：姫路循環器病センター 糖尿病センター 副センター長 橋本 尚子 先生

第二部《グループディスカッション》

糖尿病療養指導で SMBG の活用方法について、『患者さんがうまく血糖管理を出来るようになるためには、どのように介入すればよいの？』『1型糖尿病患者と2型糖尿病患者では指導ポイントって違うの？』と悩んでいる医療スタッフも多いと思います。SMBGを意味のある血糖測定にするために皆さんと一緒に考えてみたいと思います。FGMを使用した症例もあります。ご興味のある方は是非ともご参加ください。

【NST 部門】（定員 40 名） 13:00 ~ 16:30

テーマ：教えて！多職種で参加するNSTをもっと知ろう！！

講師：神戸大学医学部附属病院 栄養管理部 副部長 高橋 路子 先生、

京都民医連中央病院 薬剤師 日比 麻有 先生、神戸大学医学部附属病院 摂食嚥下認定看護師

上岡 美和 先生、六甲アイランド甲南病院 管理栄養士 阿部 和徳 先生、六甲アイランド甲

南病院 臨床検査技師 元林 富博 先生

内 容：NSTラウンドでは医師や薬剤師、管理栄養士から専門的な発言があり、『なんだかよくわからないな？』と感じたままになっている事はないでしょうか？今回は、各職種のスタッフがNSTで発言している基本的な内容をわかりやすくお話していただき、少しでもNSTラウンド内の会話が理解できれば、よりNSTに興味をもてるのではないかと考え企画しました。また、経腸栄養剤の試飲をしていただき、栄養剤の特徴を知ってもらう企画も用意しています。

参加費：2,000円（一律、テキスト代込み） 申込方法：事前申込み制（別紙「申込み方法」参照）

問合せ先：兵庫県臨床検査技師会 チーム医療部門 班長 中筋幸司 nakasuji.takarazuka@gmail.com